ıщÆ	5上来向守	専門学校	開講年	度 令和03年度(2021年度)	授	業科目	財務諸表論		
科目基础	楚情報									
科目番号		0011			科目区分		専門/選択	ξ		
授業形態講義					単位の種別と単位数		学修単位: 2			
開設学科	開設学科 コニ		ネスコミュニケーション学専攻(ビジネス 1ニケーション学コース)		対象学年		専1			
開設期前期					週時間数	週時間数 2				
教科書/教	· 数材	適宜指示	 ;する.		•					
担当教員		安部 智博	 専							
到達目標	 標	•								
		か結びつきを	より深く理解す	 -る.						
ルーブリ				_						
<i>,,</i>	<i></i>		理相的か到:		標準的な到達レ	ベルのE	 3安	未到達レベルの	カ日安	
==/#:===				ション・グレック日女 の内容を理解し、応用	各授業項目の内容を理解している		各授業項目の内容を理解していな			
評価項目1			できる。		。	台技業項目の内台で達解している。		い。	THE EXPLOSE OF THE	
評価項目2										
評価項目	3									
		頁目との関]係							
	育到達度目標		<u> </u>							
」 		··· (-)								
概要	Δ 13	現在,会本基準,おいて考		際化が進んでおり国際 際化が進んでおり国際 基準,および米国基準 面的な部分においても	会計基準の存在を きが連結財務諸表化 3違いが生じている	無視する 作成にお こ そのな		きなくなった. [能となっている を検討していく.	日本においては,日 .各基準には背景に	
授業の進	め方・方法	試験60%			評価し,60点以上	を合格と		験は行わない.		
注意点			•	を作成してもらいます					 す.	
	雷性, 履机	多上の区分								
	<u>両に //を!!</u> ティブラーニ		」 □ ICT 利用		☑ 遠隔授業対応	.		□ 宝教奴除4)ある教員による授業	
	7177-	- <i>-</i> //]	凶 逐門及来別#	ᇇ			のの公共点による意味	
1425 A.A. = T.2										
授業計画	<u> </u>	I.m	12244-7			\E = " .				
			週 授業内容			週ごとの到達目標				
		1週	会計の定義と領域			財務会計の機能と制度について理解する。				
		2週	財務会計の機能と制度			企業活動と複式簿記について理解する.				
		3週	会計基準の存在	会計基準の存在			企業会計原則, 概念フレームワーク, 個別基準, 国際 会計基準について理解する.			
	1st∩	4週	基礎概令の検討	基礎概念の検討						
	l1ctΩ	十四	全処拠心の大品					生主義会計の違	ン, 個別基準, 国際 いを説明できる. 包	
	1stQ	5週	流動資産	J		括利益	義会計と発生について理解 金、有価証証	生主義会計の違 解する.		
	1stQ			J		括利益 現金預 を理解	義会計と発 について理り 金,有価証 する. 準,生産基	生主義会計の違 解する. 券, キャッシュ	いを説明できる. 包	
前期	1stQ	5週	流動資産			括利益 現金預 を理解 販売基 説明で	義会計と発行 について理り 金,有価証 する. 準,生産基 きる.	生主義会計の違 解する. 券, キャッシュ	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を	
前期	1stQ	5週	流動資産収益の認識			括利益 現金預 を 販売明 説明 が 棚卸	義会計と発行 について理解 金,有価証 する. 準,生産基 きる. 産の取得原	生主義会計の違解する. 券, キャッシュ 準, 回収基準な	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を	
前期	1stQ	5週 6週 7週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関	引 係		括利益 現金理 販売明 説明 棚卸 事 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	義会計と発 について理 金, 有価証 する. 準, 生産基 きる. 産の取得原 価と減価償	生主義会計の違解する. 解する. 券, キャッシュ 準, 回収基準な 価と原価配分を	いを説明できる.包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する.	
前期	1stQ	5週 6週 7週 8週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産	引 係		括利益 現理理 販売明 説棚卸得 取得原 無形	義会計と発 について理 金, 有価証 する. 準, 生産基 きる. 産の取得原 価と減価償 定資産, 繰	生主義会計の違解する. 券, キャッシュ 準, 回収基準な 価と原価配分を 却を理解する.	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する.	
前期	1stQ	5週 6週 7週 8週 9週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と	引係 上繰延資産		括利 現理 販説 棚卸 銀那 駅 調 乗 間 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	義会計と発 について理 金, 有価 準, 4年 を を の取得原 価 と減価 質 定 範囲, 区分	生主義会計の違解する. 等, キャッシュ等, 回収基準な価と原価配分を卸を理解する. 延貨産の特徴をと引当金につい	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する.	
前期		5週 6週 7週 8週 9週 10週	流動資産 収益の認識 資産と費用の限 有形固定資産 無形固定資産と 負債	月保 - 繰延資産 資 産		括利金理 販説 棚 取 無 賃 資 原 固 の 産	義会計と発記でいる。 会する。 全する。 生産をの取得価を基準である。 産の取得価では、 を発達している。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	生主義会計の違解する. 等, キャッシュ等, 回収基準な価と原価配分を卸を理解する. 延貨産の特徴をと引当金につい	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する.	
前期	1stQ 2ndQ	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と 負債 株主資本と純資	月保 - 繰延資産 資 産		括利金預解基で 販説棚卸得服 大田・東京明 卸得 下 大田・東京明 卸得 下 大田・東京 で 資原 国の 産産 大田・東京 で 大田・東京 で 大田 で	義会計と発信して理に 会する. 生産基 を の取得価を基 産の取るのででである。 産の取るのでである。 産ののでである。 産のでである。 産のでである。 産のでは、 を を のの構成、株 表のでする。 を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	生主義会計の違解する. 券, キャッシュ 準, 回収基準な 価と原価配分を 切を理解する. 延資産の特徴を と引当金につい 主資本の確定に	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する.	
前期		5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と 負債 株主資本と純資 企業集団の会計	月保 - 繰延資産 資 産		括利金 現理 販説明卸得形 順 の 産 が が の の を は う の の の の の の の の の の の の の の の の の の	義会計と発信に 会すれて理に 金す、有価証証 準、名・生産基準 をの取得に 一を選出、のは ででででは、 ででででは、 でででできる。 でででは、 ででできる。 ででできる。 ででいる。 でできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で	生主義会計の違解する. 券, キャッシュ 準, 回収基準な 価と原価配分を 切を理解する. 延資産の特徴を と引当本の確定に 体系を理解する	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する. て理解する.	
前期		5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と 負債 株主資本と純資 企業集団の会計 会計の国際化	月保 - 繰延資産 資 産		括利金預解基で 顕説 棚 の 展 が の 産 諸 決 建 外 の 産 諸 決 建	義会計と発信に 会すれて理に 金す、有価証証 準、名・生産基準 をの取得に 一を選出、のは ででででは、 ででででは、 でででできる。 でででは、 ででできる。 ででできる。 ででいる。 でできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 で	生主義会計の違解する. 券,キャッシュ準,回収基準な価と原価配分を即を理解する. 延資産の特徴をと引当金にでは、と資本の確定に体系を理解する。表の作成につい	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する. て理解する.	
前期		5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と 負債 株主資本と純資 企業集団の会計 会計の国際化 外貨建取引	月保 - 繰延資産 資 産		括利金預解基で 顕説 棚 の 展 が の 産 諸 決 建 外 の 産 諸 決 建	義会計と発記した。 (金す) 本さ 産 価 定 範囲 (を) 本さ 産 価 定 範囲 (成 種) 表 で と 財 で 表 算 と 財 と 別 を と 付 表 で と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と か ま と が ま と が ま と か ま と と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と と か ま と と か ま と か ま と と と と	生主義会計の違解する. 券,キャッシュ準,回収基準な価と原価配分を即を理解する. 延資産の特徴をと引当金にでは、と資本の確定に体系を理解する。表の作成につい	いを説明できる。包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する。 理解する。 て説明できる。 ついて理解する。 て理解する。	
	2ndQ	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と 負債 株主資本と純資 企業集団の会計 会計の国際化 外貨建取引 総括	月係 - 繰延資産 - - - - - - - - - - - - -		括利金預解基で 顕説 棚 の 展 が の 産 諸 決 建 外 の 産 諸 決 建	義会計と発記した。 (金す) 本さ 産 価 定 範囲 (を) 本さ 産 価 定 範囲 (成 種) 表 で と 財 で 表 算 と 財 と 別 を と 付 表 で と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と か ま と が ま と が ま と か ま と と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と と か ま と と か ま と か ま と と と と	生主義会計の違解する. 券,キャッシュ準,回収基準な価と原価配分を即を理解する. 延資産の特徴をと引当金にでは、と資本の確定に体系を理解する。表の作成につい	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する. て理解する.	
モデルこ	2ndQ	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と 負債 株主資本と純資 企業集団の会計 会計の国際化 外貨建取引 総括	見係 上繰延資産 通産 十	堙	括利金預解基で 顕説 棚 の 展 が の 産 諸 決 建 外 の 産 諸 決 建	義会計と発記した。 (金す) 本さ 産 価 定 範囲 (を) 本さ 産 価 定 範囲 (成 種) 表 で と 財 で 表 算 と 財 と 別 を と 付 表 で と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と か ま と が ま と が ま と か ま と と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と と か ま と と か ま と か ま と と と と	生主義会計の違解する. 等, キャッシュ 等, の収基準な にはを理解する. がはから、 はののでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのではいいのではいいのではいいのではいいのではいいのではいいので	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する. て理解する.	
モデル <u>:</u> 分類	2ndQ コアカリ=	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と 負債 株主資本と純資 企業集団の会計 会計の国際化 外貨建取引 総括	見係 上繰延資産 通産 十	標	括利金預解基で 顕説 棚 の 展 が の 産 諸 決 建 外 の 産 諸 決 建	義会計と発記した。 (金す) 本さ 産 価 定 範囲 (を) 本さ 産 価 定 範囲 (成 種) 表 で と 財 で 表 算 と 財 と 別 を と 付 表 で と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と か ま と が ま と が ま と か ま と と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と と か ま と と か ま と か ま と と と と	生主義会計の違解する. 等, キャッシュ 等, の収基準な にはを理解する. がはから、 はののでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいいのでは、 はいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのでは、 はいのではいいのではいいのではいいのではいいのではいいのではいいのではいいので	いを説明できる。包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する。 理解する。 て説明できる。 ついて理解する。 て理解する。	
モデル <u>:</u> 分類	2ndQ コアカリ=	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 ゲープラムの	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と 負債 株主資本と純資 企業集団の会計 会計の国際化 外貨建取引 総括 学習内容と 学習内容と 学習内容と の	・ 操延資産 資産 十 ・	1	括利金理売明即の開発を受け、おおります。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	義会かは、金す準さ産価定範の表算取での表のようでである。 まるのは、これのでは、こ	生主義会計の違解する. 等,キャッシュ準,回収基準な価と理解する. 準,回収価配分を記述のでは、 を理解する。 を記述のでは、 を記述のできま述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述述	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する て理解する. 解する.	
モデル: ^{分類} 評価割る	2ndQ コアカリ= 合	5週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの	流動資産 収益の認識 資産と費用の限有形固定資産と負債 株主資本と純資企業集団の会計の国際化 外貨建取引総括 学習内容と到 学習内容と到 課題	日係 上繰延資産 通産 十 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	態度	括利金理売明即得形債資務結貨が出り、おります。	義会計と発記した。 (金す) 本さ 産 価 定 範囲 (を) 本さ 産 価 定 範囲 (成 種) 表 で と 財 で 表 算 と 財 と 別 を と 付 表 で と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と が ま と か ま と が ま と が ま と か ま と と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と か ま と と か ま と と か ま と か ま と と と と	生主義会計の違解する. 等,キャッシュ準,回収基準な価と原価配分を即を理解の事務を記述をいま資本の確定に体系を相対のには、まずのにでは、まずのについて理理を対して、まずのにいて理理を対して、まずのにいて理理を対して、まずのにいて理理を対して、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは、まずでは	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する て理解する. (で理解する. (でを表して (できる)	
モデル <u>:</u> 分類 評価割る	2ndQ コアカリ= 合 割合 60	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 トユラムの	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と負債 株主資本と純資企業集団の会計の国際化 外貨建取引 総括 フ学習内容と発 学習内容と発 は、対	根経 経 経 経 経 性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	態度 0	括利金預解基で資原 固の産諸決建ま ポーの	義会かは、金す準さ産価定範の表算取での表のようでである。 まるのは、これのでは、こ	生主義会計の違解する. 等,キャッシュ準,回収基準な価と原理の特別である。 は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する て理解する. (はアンバル 授業週 合計 100	
分類 評価割 総合評価 基礎的能	2ndQ コアカリ= 合 割合 60 カ 20	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Fユラムの	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と 負債 株主資本と純資 企業集団の会計 会計の国際化 外貨建取引 総括 学習内容と 学習内容と 課題 40 20	月係 - 繰延資産 資産 十 ・ 学習内容の到達目 相互評価 0 0	態度 0 0	括利金理売明卸得形債資務結貨れます。	義会かは、金す準さ産価定範の表算取での表のようでである。 まるのは、これのでは、こ	生主義会計の違解する. 等,キャッシュ準,回収基準な価と原価配分を即を理解する. 延引当本の確定には発表を理解するには、本系を理解する。表の作のいて理型を対して、 の他ののの	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. で説明できる. ついて理解する て理解する. Multiple できる. Multiple できる. Multiple できる. Multiple できる。 Multiple できる. Multiple できる。 M	
モデル <u>:</u> 分類 評価割る	2ndQ コアカリ= 合 割合 60 カ 20 カ 40	5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 Fユラムの	流動資産 収益の認識 資産と費用の関 有形固定資産 無形固定資産と負債 株主資本と純資企業集団の会計の国際化 外貨建取引 総括 フ学習内容と発 学習内容と発 は、対	根経 経 経 経 経 性 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	態度 0	括利金預解基で資原 固の産諸決建ま ポーの	義会かは、金す準さ産価定範の表算取での表のようでである。 まるのは、これのでは、こ	生主義会計の違解する. 等,キャッシュ準,回収基準な価と原理の特別である。 は、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般で	いを説明できる. 包 フロー計算書の特徴 ど収益認識の特徴を 理解する. 理解する. て説明できる. ついて理解する て理解する. (はアンバル 授業週 合計 100	